

第 32 回岡山県作業療法学会

演題募集要項および表彰について

テーマ：「可能性を秘めた作業療法～地域のお他職種・他業種と共に歩む～」

日程：令和 2 年 2 月 29 日（土）、3 月 1 日（日）

場所：岡山大学病院（岡山県岡山市）

学 会 長：河本聡志（倉敷成人病センター）

副 学 会 長：竹村 篤（玉野総合医療専門学校）

実行委員長：西 悠太（倉敷平成病院）

第 32 回岡山県作業療法学会の開催に際しまして、以下のとおり一般演題の募集をいたします。皆さまのご応募をお待ちしております。

1. 申し込み資格

筆頭演者（発表者）は、（一社）岡山県作業療法士会の正会員に限ります。

2. 演題募集期間

令和元年 9 月 9 日（月） ～ 10 月 14 日（月）

3. 募集形式

事例発表、実践報告や取り組み、調査・研究発表の演題について募集します。発表形式は、口述発表とポスター発表を予定しています。演題応募時に希望の発表形式を選択してください。

一般演題（事例発表、実践報告や取り組み、調査・研究発表の演題）

- ・口述発表
- ・ポスター発表

4. 発表形式

一般演題

- ・口述発表

全て PC（Windows 版 Microsoft Power point 2016）を用いて行います。発表時間 7 分、質疑応答 3 分です。持ち込みメディア形式は USB フラッシュメモリーの予定です（トラブルに備えファイルのバックアップを CD-R 等で持参してください）。音声・動画は使用できません。

・ポスター発表

口述発表の時間は設けません。発表者は指定された時間にポスターの前に立ち、参加者と討論してください。ポスターの本文（図表・写真を含む、縦 1000mm、横 800mm）、および演題名・所属・氏名（縦 200mm、横 600mm）は演者に作成していただきます。

5. 演題内容に関わる倫理的事項

1) 最大限倫理的な配慮を行うこと

研究の計画・実行・分析・演題作成などの過程において、個人の尊厳、人権の尊重などの倫理的配慮を十分に行ってください。また、各所属施設に倫理審査委員会がある場合は、審査を受けた旨を記載してください。

2) 対象者の同意について

上述した倫理的事項を遵守し、本文中に倫理的配慮について記載してください。人を対象とする研究においては、対象者の同意についての記載は必須です。記載がない場合は、原則として不採択となりますのでご注意ください。

3) 著作権などへの配慮

他の著作物からの引用を行うときには、本文中に出典の著者と発行年数（フルネーム、西暦）を明記し、著作権を侵害しないように注意してください。例：(山田太郎, 2009)

4) 利益相反 (COI) について

利益相反 (Conflicts of Interest : COI) とは、一般的には「ある行為が一方の利益になると同時に、他方の不利益になるような行為」のことをいいます。

第 32 回岡山県作業療法学会では、発表者に対して、発表時に、発表演題に関連する企業等との COI の有無および状態について申告することを義務付けております。

研究に関連する企業や営利団体等との利益相反 (COI) がある場合は必ず明記してください。ない場合も、「演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業等はありません」という記載をしてください。

6. 表彰

学会長賞、奨励賞等用意いたしております。

7. 抄録の申し込み方法

申し込み受け付けはすべてメールで行います。(一社)岡山県作業療法士会のホームページより演題登録フォームの書式をダウンロードし、必要事項・抄録を記載した書式を添付したうえで、演題採択委員会 (okaot32@gmail.com) まで送付してください。

必要事項

- ・(一社)日本作業療法士協会会員番号
- ・筆頭演者の姓名
- ・筆頭演者の姓名ふりがな
- ・メールアドレス (PC)

- ・筆頭演者の経験年数
 - ・筆頭演者の所属先
 - ・所属先の電話番号
 - ・共同演者の姓名
 - ・共同演者の所属先
 - ・タイトル
 - ・発表形式の選択（一般演題：口述発表／ポスター発表）
- *共同演者の氏名の後に括弧付で職種も明記してください（医師：Dr、看護師：Ns、理学療法士：PT、言語聴覚士：ST、ソーシャルワーカー：MSW・PSW など）。

抄録

1) 以下の見出しを含め、全角 800 字（1600Byte）以内（英数字は半角）でお願いします。

〈調査・研究発表〉

- ・【目的】
- ・【方法】
- ・【結果と考察】

〈事例発表・実践報告〉

- ・【目的】
- ・【事例紹介】
- ・【作業療法評価】
- ・【介入経過】
- ・【結果と考察】

2) 注意事項

- ・抄録の書式は変更せずに使用してください。
- ・図表などの登録はできません。
- ・句読点は「，」「。」（全角）に統一してください。
- ・フォントサイズは 10.5pt です。
- ・文中の半角英数字は 2 文字で全角 1 文字として計算します。
- ・改行は文字数として含めませんが、文中のスペースは文字数として計算します。本文中ではスペースを使用しないことを推奨します。
- ・文字数は 800 字かつ 1600Byte 内に納まっていることを確認してください。Word などの文書内で 800 字に納まっても、1600Byte を超えている場合があります。専用サイト等で確認をお願いします。
- ・倫理手続きは方法または事例紹介の項目に明記してください。

8. 抄録審査基準

それぞれの演題において、自分の演題が 1) ～2) のどれにあてはまるか選択した後、以下の基準を満たすよう抄録を作成してください。一度採択された演題の取り消しはできません。

1) 調査・研究発表

目的：研究で何を明らかにするのか、具体的な目的が述べられているか。

方法：対象と方法が具体的に述べられているか。方法は研究の目的に合致しているか。倫理手続きが記されているか。

結果：データが正しく示されているか（質的研究においてもデータの提示は必須）。統計処理の結果（危険率など）は正しく示されているか。解析方法は妥当か。

考察：得られた結果が論理的に説明されているか。研究の重要性や問題点、社会に果たす貢献などが述べられているか。考察の内容が目的と整合しているか。

抄録の質：抄録は読みやすく記述されているか。文法や文体に統一性はあるか。簡潔な文章で、他者が研究の内容を理解できるよう要点が明確に記述されているか。

2) 事例発表・実践報告

目的：報告の目的は明確か。

事例紹介：年齢、疾患名、既往歴、現病歴、作業療法の対象となるまでの経緯、社会的背景等、介入の基本方針に関連する個人因子と環境因子が記述されているか。倫理手続きが記されているか。

作業療法評価：対象者の標的問題を中心とした評価（問題点、潜在能力、経過予測）を述べ、介入前の障害像、特に報告の目的に関わる主要な問題点が明確に記述されているか。

介入経過：作業療法計画と介入経過の過程が分かりやすく明確に記述されているか。

結果：介入によって得られた評価指標（数値）の変化、あるいは対象者の生活（行動）上の変化などが明確に記述されているか。

考察：結果で述べた対象者の変化に関する解釈が明確に記述されているか。

抄録の質：抄録は読みやすく記述されているか。文法や文体に統一性はあるか。簡潔な文章で、他者が研究の内容を理解できるよう要点が明確に記述されているか。

9. 演題採択結果の通知

最終的な「演題採択結果の通知」は、11月中旬頃、電子メールにて送信いたします。なお、発表形式については変更をお願いする場合があります。

10. 問い合わせ先

お問い合わせは、第32回岡山県作業療法学会実行委員会（okaot32@gmail.com）までメールにてお願いいたします。